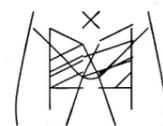


血管内治療を受けられる()様へ

神戸市立医療センター中央市民病院 脳卒中センター 2019. 6

日程	治療前日まで	治療当日 (治療前)	治療当日 (治療後)	術後1日目	術後2-6日目 (検査後)	退院日
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・病状、治療について医師が説明します。 ・治療説明書、ヨード造影説明書を看護師にお渡しください。 ・病状の経過などについてお聞きした後、入院生活について看護師が説明します。 ・検査時間、絶食について説明します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤師は医師と情報共有して、薬物療法を安全に進めていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医師が、治療結果について説明します。 			<ul style="list-style-type: none"> ・医師が、病状と今後の事について説明します。 ・治療経過に問題がなければ、術後2日目に退院予定です。 
検査	<ul style="list-style-type: none"> ・血液検査、X線撮影、心電図などの検査を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・血管造影検査は、1階のIVRセンターで行います。 ・可能であれば、ご家族は病棟もしくは検査室受付前で待機してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要時、採血があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・頭部CTやMRIがあります。  		
処置	<ul style="list-style-type: none"> ・検査用のT字帯、ストローを持参してください。 ・現在の内服薬は全てお持ちください。場合によっては内服薬の変更があります。 ・ご本人と確認できるよう、入院時にリストバンドを手首につけます。 ・両足の甲に印をつけます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・尿の管を入れます。 ・義歯、指輪、ヘアピンなどははずして下さい。 ・朝から点滴が始まります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・心電図、血圧計など機械を装着します。 ・翌朝まで何度も、名前、年齢、日付、場所を質問したり、手足の動き、目に光を当てるなど状態を確認しますのでご了承ください。 ・頭痛、吐気があれば、我慢せず看護師に伝えてください。 ・止血のため、検査後3時間は、カテーテルを入れた足の付け根に止血ベルトをまいた状態です。止血ができているか、確認します。 			<ul style="list-style-type: none"> ・医師の許可があれば点滴は終了します。
安静	<ul style="list-style-type: none"> ・制限はありません(毛ぞりの範囲図)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入院前日に両足のつけ根と太ももの内側のけぞりをお願いします。 ・できない方は入院後に看護師が行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・検査後3時間は、起き上がった後、止血ベルトをまいた足を曲げることはできません。 ・ベルトをはずした後も、翌朝までベッド上で過ごして頂きます(座ることもできません)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の許可があれば歩くことができます。 		
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・毛剃り後、入浴してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴は出来ません。 			<ul style="list-style-type: none"> ・治療2日目以降、医師の許可があれば、入浴できます。 	
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養管理部が医師と協働して食事計画に参画します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・治療前は一回絶食です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水分はすぐに飲むことができます。 			
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・制限はありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・治療前に尿の管を入れます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・便意があれば、ベッド上で便器を使用します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩くことができるようになれば尿の管をぬきます。 		